

【別紙】

TokyoTCP 中間発表会・ギャップファンド審査会 参加事業者一覧

書面審査を通過し、本審査会に参加する事業者は、以下の 18 チームです(※代表者名五十音順)。

■事業者①

株式会社 Ferropt Cure / 大槻雄士

世界初フェロトーシス誘導性抗がん剤の開発

酸化ストレスによる細胞死であるフェロトーシスを利用した世界初の誘導性抗がん剤を開発し、現在のがん治療に大きな変革をもたらす。

■事業者②

モビスペース株式会社 / 片山将

3D パノラマ画像を解析する技術でマイクロスペースを再発明する

3D パノラマ画像を解析する技術によって駐車場として活用可能なマイクロスペースを高速で発見し、契約・仲介を行い、遊休地を新しいモビリティのために再発明する。

■事業者③

慶應義塾大学 / 勝俣良紀

呼吸による非アルコール性脂肪肝炎の新規診断技術の開発

新規開発した揮発性の酸化脂質解析技術を拡張・応用し、呼吸による NASH の新規診断技術を確立し、医療機器開発・社会実装につなげる。

■事業者④

東海大学 / 亀谷美恵

免疫ヒト化マウスを用いた免疫製剤(抗がん剤)の開発

新たながん発生仮説に基づいて開発した免疫(リモデリング可能な抗がん剤)とその評価系である免疫ヒト化マウスのパッケージを提供し、がん治療の新たな方向性を構築する。

■事業者⑤

慶應義塾大学 / 川崎陽祐

Feeling ～まるで体の一部のような半自動車いす～

ロボティクスと継続技術を活用することで、体幹運動で操作可能なハンズフリー半自動車いすを実現し、下肢機能が低下した患者の上半身を使った自立生活を支援する。

■事業者⑥

マッスルブループリント株式会社／衣笠竜太

筋トレやエクササイズを効率化する世界初のコンシューマ用筋電センサーとアプリの開発

筋トレの最大の課題である「続かない」という点に対して、世界で5億人が使用しているアプリ「Duolingo」の特徴を ChatGPT と Profile データベースを組み合わせ、アプリに実装する。

■事業者⑦

聖マリアンナ医科大学／木村朱門

臓器の老化を可視化する肉体年齢指標の開発及び事業化

AIにより医用画像を解析し臓器を軸に全身の健康状態にフォーカスすることで、医療資源の全体最適と生活者の個別最適を実現し社会に貢献する。

■事業者⑧

株式会社 grubio／佐藤龍飛

研究者支援と産学連携で推進するバイオインフォマティクスの未来

研究者と産業界が直面するバイオインフォマティクスの課題を解決し、同領域における新たなイノベーションを生み出すことを目指す。

■事業者⑨

株式会社 D-attend／滝沢直

レジリエントな老後を提案する「活動促進&復帰支援プラットフォーム」

シニア個人の好みや体調に合わせて社会活動への参加を促進、さらに活動ログから蓄積する「生活カルテ」の医療外の情報を拾い上げ、復帰支援に貢献する。

■事業者⑩

株式会社スムーリースタジオ／地道邦顕

テロップ自動生成 AI

従来のツールとは異なり、テレビ局や YouTube など媒体ごとの独自ルールを適用することで追加修正の必要がないテロップを自動生成する AI ツールの開発。

■事業者⑪

東京大学／武田康宏

外科手術の自動化を展望する、AI 画像認識モデルの構築

手術ロボットと AI の掛け合わせによる、外科手術の自動化を目指す。まずは脳疾患患者の再発検知モデル開発と、その派生としての AI 画像認識プロダクトの展開事業を進める。

■事業者⑫

東京工業大学／千葉のどか

腸内環境に基づく体質改善のための最適食品・献立予測システム”献立 Generator”の拡張と事業化

腸内細菌と栄養学の基礎研究の知見を統合し、腸内環境から体質を改善する個別最適な食品や献立を出力するシステム「献立 Generator」の構築を目指す。

■事業者⑬

東京農工大学／寺正行

遺伝子の「カタチ(G4 構造)」を狙う低分子医薬品探索の基盤技術事業

医療費の高騰や、患者の通院負荷の増大に対して、高度な技術を要しない低分子医薬品に AI を活用して新しい作用を付与し、医療格差を解決する。

■事業者⑭

株式会社オーツー・パートナーズ／中村ユセフ健

金属ワイヤ 3D プリンタによる大型船トroidalプロペラ製造最適化設計プロセス開発

環状構造を持ち、燃費向上・燃料支出の大幅な削減を実現することが出来る革新的な技術ではあるものの製造難易度の高さにより実装がされていないトroidalプロペラに、最新の金属 3D プリンタであるワイヤ式と保有するレーザー出力調整技術を活用し商用化を目指す。

■事業者⑮

合同会社海と緑の技術研究舎／平賀和徳

生物の船体付着の忌避を目的とした超音波利用とその定量的評価

船舶の推進機能を著しく劣化させる藻類や貝類の船体付着の忌避を目的とした超音波利用とその定量的評価をし、独自デバイス開発と設置ノウハウを築くことを目指す。

■事業者⑯

株式会社バディトレ／星野雄三

シニア向け HIIT コミュニティジム「ドクターバディトレ」

高齢者の健康維持と抗老化を目指し、IoT デバイスを用いて心拍数を可視化するデータドリブンの指導とコーチングを導入し、効果的な HIIT(高強度インターバルトレーニング)を提供する。

■事業者⑰

東京理科大学／元祐昌廣

柔らかなシートフローセンサー

凹凸がなく貼り付けて使うことができる極薄シート型のフレキシブルなフローセンサーのシーズを活用して、新たなフローマネジメントの付加価値を提供する。

■事業者⑩

SAKIYA 株式会社／渡邊 顕人

ミリ波を用いた木材の非破壊検査

レーザースキャナ(LiDAR)とミリ波センシング技術による3次元再構築手法とAIによるクラウド解析手法を活用した木材の非破壊検査システムの開発。

●オンライン視聴申込方法:

件名に「TokyoTCP 中間審査オンライン視聴希望」とご明記の上、本文に①名前②所属先③役職④電話番号⑤どの事業者に興味があるか⑥イベント後のオンラインマッチングへの参加希望の有無、を記載し、以下のメールアドレス宛てにご連絡ください。お申し込みの後、視聴 URL (Zoom) を9月27日(金)までにお送りします。

お申し込み用メールアドレス: 200010-tokyo-tcp@ml.jri.co.jp



お申込み頂いた個人情報の取扱いについて

1. 個人情報の取扱方針	弊社は1998年10月6日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。参加者の個人情報は弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。尚、弊社の「個人情報保護方針」をご覧になりたい方はインターネットで http://www.jri.co.jp/privacy をご覧下さい。
2. 個人情報の利用目的	お申込者の個人情報は以下の目的のために利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものと致します。 ①「TokyoTCP 中間発表会・GAP ファンド審査会」へのご参加の確認、並びに今後のセミナー等へのご案内。今後のご案内が不要の方はチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 今後の案内は不要
3. 個人情報の共同利用・第三者提供の予定	本お申込みに伴う個人情報の社外への提供の予定はありません。
4. 個人情報の取扱いの委託予定	本お申込みに伴う個人情報の社外への委託の予定はありません。
5. 個人情報を弊社に提供することの任意性及び当該情報を与えなかった場合に申込者に生じる結果について	所属先名、お名前、お役職、電話番号、関心のある事業者、イベント後のオンラインマッチングへの参加希望の有無については省略できません。ご記入漏れがあるとお申込みが無効となる場合がありますのでご了承ください。
6. 開示、訂正・利用停止等の申し立て先及び個人情報の取扱いに関する苦情、ご相談の受付窓口（ご本人様よりお申し立てがあったときは遅滞なく開示、訂正・利用停止等の措置をとります。詳しくは弊社の「個人情報保護法に基づく公表事項」4.をご覧ください。）	① 本申込みにおける個人情報の取扱責任者： リサーチ・コンサルティング部門 東 博暢 ② 個人情報苦情・相談窓口： リサーチ・コンサルティング部門 石田 直美 電話：080-4403-5725 FAX：03-6833-9480 E-mail： ishida.naomi.q4@jri.co.jp ③ 「個人情報保護法に基づく公表事項」： http://www.jri.co.jp/privacy/kohyo/ をご参照ください。